

2011年
新春号

いしかわ 成人病予防センター だより

いしかわ
成人病予防センターだより第33号

発行日 平成23年(2011年)1月発行
発行所 財石川県成人病予防センター
金沢市鞍月東2丁目6番地
電話 (076)237-6262
FAX (076)238-9207
郵便番号 920-8201
郵便振替番号 00750-7-16352

E-mail smile@kenshin-ishikawa.or.jp
U R L http://www.kenshin-ishikawa.or.jp/



春の兼六園

謹賀新年



初夏の珠洲市見附島



石川県成人病予防センター
理事長
素谷 宏

あけましておめでとうございます。
年の始めにあたり昨年度の目標を思い
起しますと、

- (1) 胃がん検診にペプシノゲン検査の導入
- (2) 乳がん検診に超音波検査の導入
- (3) 市町への検診結果通知の迅速化
でした。

達成度を評価してみますと、(3)の検
診結果通知三十日以内はフィルム読影医
の不足によってマンモグラフィ読影と胸
部写真読影の遅れのため、あと少しの
ところで達成できませんでした。

そこで今年度は(1)(2)(3)を継続目標と
し、さらに

- (4) 乳がん検診の視触診検診の見直し
- (5) 当センターの理事会・評議員会を改
組して新しく公益法人として申請
を追加し目標達成に職員一同力を合わせ
て取組みたいと思います。



わが市の特定健診を振り返って

〜集団検診を導入して〜

珠洲市健康増進センター

保健師 東 博美

平成20年度に特定健診が導入されるにあたり、珠洲市では集団検診をすることにしました。

これまでの25年間、基本健康診査は、個別で実施してきました。集団検診は、住民への浸透に時間がかかるかと思いましたが、導入3年目の今年、受診者の約半数が集団を選んでいます。

受診された方に集団検診の良さを聞くと、「日曜日に受診できるから」「気楽だから」「総合健診になって、がん検診も一緒に受けられるから」「個別より自己負担が500円安いから」という答えが返ってきました。

私たち事業担当者側にも「健康増進センターを身近に感じてもらえる良い機会」「委託料が個別健診より安い」「がん検診の受診率向上にもなる」というメリットがあります。

良くない点も考えてみました。医

療機関で個別健診を受診すれば、治療が必要な方には、すぐに治療が開始されます。しかし、集団検診の場合は、結果がでて、治療までに1ヵ月半ほどかかります。

しかし、その点は、今年度「仮報告」という方法を取ってもらえます。8月の集団検診受診者で、血糖値がかなり悪い2人の情報を3日程でいただくことが出来ました。すぐ訪問し、治療につなげました。成人病予防センターで工夫をしていただいたお陰です。

この2人は退職してから、がん検診のついで「15年ぶり」「8年ぶり」に健診を受診されたと言われました。総合健診の良さもあらためて感じました。

集団・個別の良い点を念頭に置きながら、今後両方の方法で実施する予定です。珠洲市の今年度の受診率は25%程であり、受診率向上にむけて、受診の機会を増やしていきたいと思えます。

成人病予防センターの職員の方々は、早朝、金沢から珠洲まで移動され、疲れも見せず、優しく対応していただき感謝しております。今後よりよくお願いいたします。

胃・胸部併用デジタルX線装置搭載新検診車

〜けんこう7号車をむかえて〜

消化器呼吸器検診課

水口 理恵

平成22年2月5日（金）センター

の正面玄関にレッドカーペットが敷かれ、お披露目式典という名のおおき、検診車製作に協賛していただきました県の方々、対がん協会の方々、そして今回の装置メーカーHITACHIの方々、更に各マスコミ関係が見守る中、けんこう7号車はセンターのデジタル検診車第1号として、お披露目されました。

その風貌は、なんとも言えない圧倒感と輝きがあり、センターの未来に新しい希望の光が差した瞬間でした。車両もセンター初のトラック車両で、2機搭載ということもあり、かなりのサイズで普通なら、威圧感！が出てしまうところを、外装デザインの良いブルーと円形がカモし出す柔らかさ、そこにカラフルな競輪の自転車マークが可愛らしさをプラスして、全体的にまとまりある

とてもステキなデザインに仕上がっていました。

実は、この一新したけんこう7号車の外装デザインは、製作の段階でセンター職員全員から、デザイン案を募り、更にそれを皆で投票して選ばれたもので、まさに、センター皆で作上げた検診車でもあるのです。

その華やかなお披露目式から早1年が立ち、県内各地を飛び回る7号車にも、住民の皆さんもやっと見慣れて来たところではないでしょうか!! 技師の業務内容も、けんこう7号車の仲間入りによりフィルムレスとなり、ずいぶん変化がありました。戸惑いながらもデジタルの良さ（検査線量の低減化、画像情報の効率的な管理など）を徐々に実感しています。

内装も明るく広々しており、受診者の方々にも好評のお声をいただいております。センター一同感謝しております。

今後とも、このけんこう7号車共々、当センターをどうぞよろしくお願ひ致します。

第40回 日本消化器がん検診学会東海北陸地方会
東海北陸消化器がん検診の会・総会

日時：平成22年11月27日（土）
会場：富山国際会議場 3階

テーマ「消化器がん検診に対する精度管理と
受診率向上を目指して」

南 昌秀 先生 胃集検読影委員会



胃検診（胃透視） 発見がん3年遡り検診
間接フィルム再読影による見逃し例の検討

見逃し例ゼロを目指して



- 異常所見の項目**
- ▲直接所見
 - ニツシエ 陥凹性病変 陰影欠損
 - レリーフ集中 隆起性病変 周堤
 - ◆間接所見
 - 小彎短縮 胃角開大 彎入 異常ライン
 - 顆粒状変化 辺縁不整 辺縁硬直
 - レリーフ乱れ 粗大レリーフ フレック

緒言

石川県成人病予防センターの平成16年～20年の平均要精検率は11.9%、がん発見率は0.17%である。要精検率を上げずに、がん発見率を上げるのが理想的である。（図1において左上のエリア）そのためは読影医の読影力を高めなければならぬ。

私たちは、胃がん検診（胃透視）にて発見された胃がんのうち、進行がん症例（組織学的進行がんを含む）について、発見年3年前まで遡って検診間接フィルムの再読影を行ったので報告する。

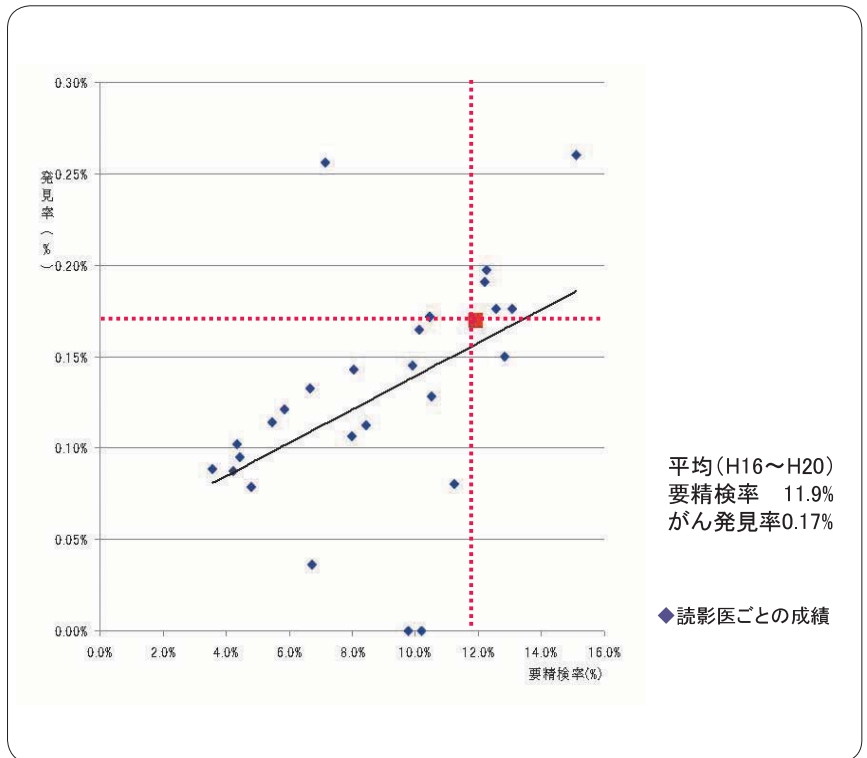


図1 要精検率 と がん発見率

方法

胃がん発見3年前までの期間で最低1回（1年）のみ受診をもって継続受診とし、再読影により1箇所でも異常所見が認められたものを見逃し例とした。

異常所見は、胃集団検診読影票で用いられている所見に「周堤」を加えた。病変自体が描出されている所見、ニツシエ、陥凹性病変、陰影欠

損、レリーフ集中、隆起性病変、周堤を「直接所見」とした。病変の存在が周囲に及んでいる所見である小彎短縮、胃角開大、彎入、異常ライン、顆粒状変化、辺縁不正、辺縁硬直、レリーフ乱れ、粗大レリーフ、フレックを「間接所見」とし、直接所見と間接所見に分けてチェックを行った。なお、再読影は複数の読影医で行った。

結果 (図2)

胃発見がん総数はH16年～H21年の6年間で197例、そのうち進行がんは73例であった。継続受診として再読影の行ったのは47例であった。

詳細な再読影の結果、少なからず過去三年間の検診フィルムにすでに病変を思わせる軽微な異常所見が認められたことは、今後さらなる注意深い読影の必要性が示唆された。

- H16年～H21年
 発見がん総数 197例
 進行がん 73例
 継続受診 47例 男性35名 女性12名
 平均70.0±8.6歳 切除胃3例
- 過去所見なし 26例
 - × 過去所見あり 21例
 - ▲ 過去所見あり(直接所見) 12例
 - ◆ 過去所見あり(間接所見) 9例

図2 結果

年齢と腫瘍長径 (図3)

年齢と腫瘍長径に相関は認められず、見逃しなし、直接所見見逃し、間接所見見逃しの各症例も偏った分布はみられなかった。

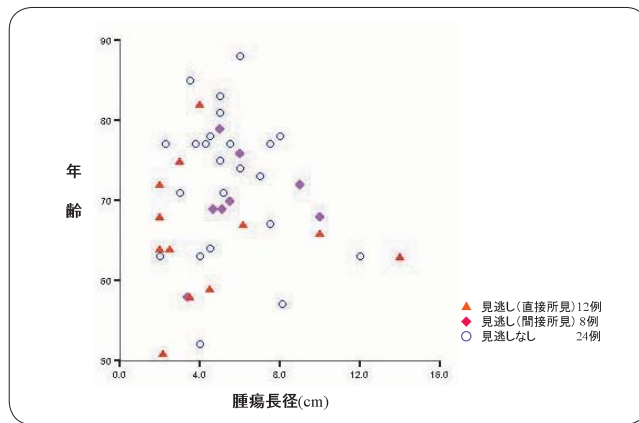


図3 年齢と腫瘍長径 腫瘍長径不明3例を除く44例

見逃し部位 (表1)

見逃しなし、直接所見見逃し、間接所見見逃しいずれの症例も特定部位に偏っていなかった。つまり、上部(U)・下部(L)のみならず、中部(M)にも見逃し例が認められた。図4中、噴門部には見逃し例が無いがその理由として発見年以前の

指摘部位と病変の部位が一致 切除胃を除く34例

	L		M			U		
	幽門部	前庭部	胃角部	体下部	体中部	体上部	穹窿部	噴門部
大彎	○	◆		○	◆	○	◆	
後壁	▲	○○▲		▲	○	○○▲		
小彎	○◆	○○	○▲	○○	◆	○○▲	○	○○○
前壁			▲					

○見逃しなし ▲見逃し(直接所見) ◆見逃し(間接所見)

表1 見逃し部位

肉眼型分類と見逃し (表2)

見逃し例は3型が多く、見逃しなし例では2型が多かった。5型はIIc型が大部分を占めていた。直接所見見逃しを肉眼型別に検討した。1型は隆起性病変が十二指腸との重なっていた。2型と3型はい

フィルムに描出されておらず、噴門部病変を描出することが困難であることが考えられる。

	1型	2型	3型	4型	5型
▲見逃し(直接所見)	1	4	4	0	3
◆見逃し(間接所見)	2	0	3	2	1
見逃し 20例	3	4	7	2	4
○見逃しなし24例	4	11	4	3	2

表2 肉眼型分類と見逃し

ずれも陥凹性病変3例、隆起性病変1例であった。4型は直接所見見逃しがなく、間接所見見逃しのみであるが、間接所見である辺縁不整および辺縁硬直は4型においては直接所見とみなしても良いのではないかと考えられた。

見逃し所見について

直接所見の主所見は、隆起性病変：4例、陥凹性病変：3例、陥凹性病変＋周堤：1例、陥凹性病変＋レリーフ集中：2例、レリーフ集中：2例であり、陥凹性病変を含む所見が6例であって特に重視すべき所見と考えられた。（直接所見見逃し：図4、5、6）

間接所見は、辺縁不整：4例、辺縁硬直：4例、異常ライン：3例、胃角開大：1例、レリーフ乱れ：1例、粗大レリーフ：1例であった。辺縁不整・硬直が多く、注意を要すると思われた。（間接所見見逃し：図7）

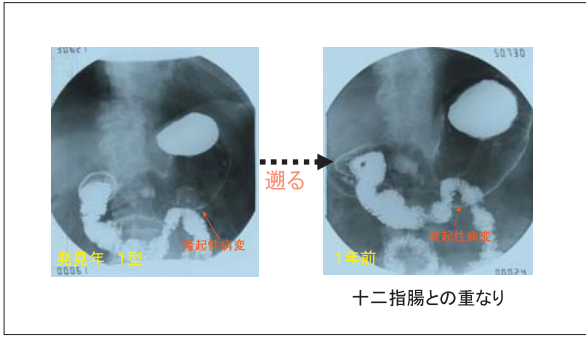


図4 直接所見見逃し 隆起性病変

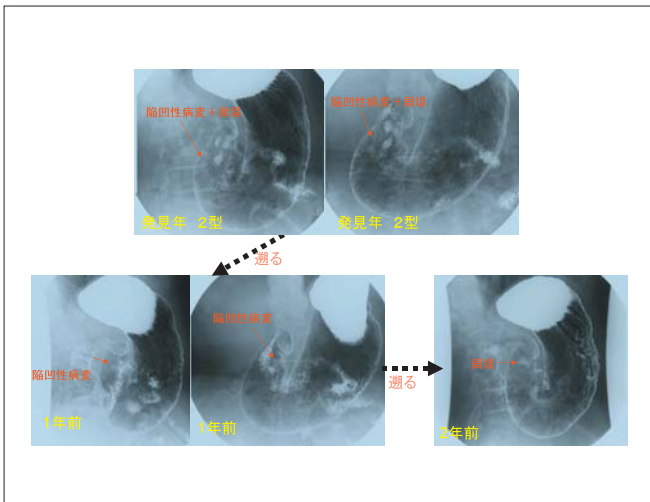


図6 直接所見見逃し 陥凹性病変・周堤

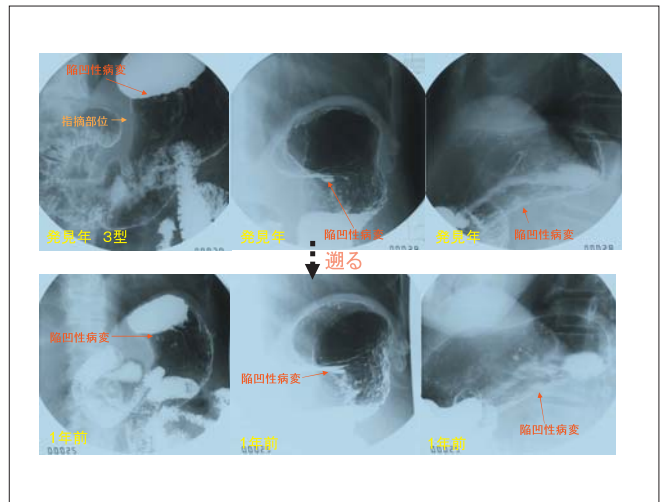


図5 直接所見見逃し 陥凹性病変

結語

過去所見の見逃し率を少なくするための取り組みとして、発見がん全フィルムを記憶媒体(CD等)にコピーして読影医全員に配布を予定しており、読影力が高まることを期待している。



第7号けんこう号

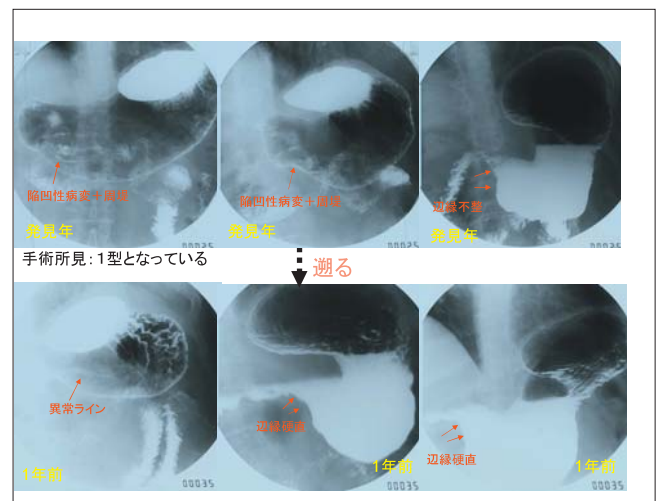


図7 間接所見見逃し 辺縁硬直・異常ライン

街から発信した

ピンクリボンのメッセージ

〜金沢で初めてのピンクリボン運動の開催〜



石川県立中央病院乳腺内分泌外科 診療部長
かなざわピンクリボンプロジェクト 実行委員長

吉野裕司

みなさん、「ピンクリボン」についてご存知でしょうか？



「ピンクリボン」は乳がんの早期発見・早期治療を促進する運動のシンボルです。日本では現在女性の16人に1人が乳がんにかかると言われていています。この病気は早期発見早期治療ができれば治癒する可能性が高いがんであるにも関わらず、まだまだ乳がんへの関心も検診率も低く、年々死亡数は増えているのが現状です。

日本では2003年頃から、市民のみなさんに乳がんに関心を持つてもらい、乳がんの早期発見の大切さを啓発するための活動「ピンクリボン運動」が大都市を中心にスタート



しました。各地でイベント開催や街のシンボリックな建物のライトアップなどを通じてピンクリボンのアピールがなされてきました。

私たちが住んでいるここ金沢でも、ピンクリボンのメッセージを伝え、みなさんに乳がんの早期発見・早期治療の大切さを知ってもらおうと「かなざわピンクリボンプロジェクト」を立ち上げました。金沢市内の医療機関の医師・看護師を中心に実行委員会を設立し、さらには石川

県ウォーキング協会、地元の新聞社、イベント企画会社の方々も実行委員のメンバーに加え、約1年半に渡り準備を進めてきました。

そして今回、第1回目の企画として「ピンクリボンメッセージウォーク2010」を9月26日（日）に金沢市心部で開催することができました。イベントに先立ち、しいのき迎賓館が9月23日〜25日までの3日間ピンク色にライトアップされ、市民の方々へイベントの開催をアピールし

ました。ウォーキング当日は、ピンクリボンの願いが通じたのか（我々の日頃の行いがよかったのか!?）、幸いなことに素晴らしい秋晴れの日曜日で、歩くには絶好のコンディションとなりました。参加人数は当初の予想をはるかに越えて約700名と大盛況で、果たして何名参加するだろうかという我々実行委員の心配は



全く杞憂に終わりました。

また特別ゲストとしてご参加の金沢市出身の女優田中美里さんも、みなさんと一緒に歩いていただきました。さわやかな秋晴れの金沢の街並みに華やかな雰囲気をもし出して下さいました。みなさんピンクのバندانを思い思いの場所に身につけて、笑顔でゴールされる姿がとても印象的でした。

スタート&ゴール地点の周辺では県内の検診機関のご協力でマンモグラフィ無料検診が行われましたが、こちらの方もあつという間に予定人数に達してしまい、乳がん検診への関心は実際はもっと高いのではないかと考え直させられました。その他にも会場内に各種ブースが立ち並び、乳房の模型による触診体験や乳がんのパネル展示が行われ、参加者の皆さんが乳がんについて熱心に勉強している姿があちこちで見られました。今回はおかげさまで大盛況なイベントになり、初回としては大成功のうちには終わらせることができました。初めての試みで準備不足も否めず反

省点もありましたが、このイベントをぜひこれからも継続・発展させていきたいと考えております。今回はウォーキングが中心でしたが、今後は講演会やパネルディスカッションなども時期を違えて開催することも検討しております。

このイベントがさらに発展し、ひいては石川県の乳がん検診受診率が向上し、乳がんを早期に発見される方が増え、乳がんが苦しまれる方



が少しでも減ることを願っております。

最後になりましたが、ご協力・ご協賛いただきました団体および企業のみなさま、イベントにご参加いただきました市民のみなさま、そして朝早くから遅くまでご尽力いただきましたボランティアスタッフの皆様にも熱く御礼申し上げます。そして今後とも更なるご協力をよろしく願います。



2010 啓発普及活動のあれこれ

1月～4月

- 3/17(水) 城北ライオンズクラブより乳がん触診パッドリウエイド30枚進呈 “ありがたい話に使わせていただきます♪”
- 4/10(土)・11(日) **第31回金沢健康づくりフェア** in 大手町プラザ
動脈硬化・尿検査・乳がん啓発コーナー
“いつもいつも大人気です”
- 4/14(水)・15(木) **第28回ほくりく外食産業展** in 産展1号館
骨密度測定・尿検査・血圧測定
- 4/30(金) **志賀町マンモグラフィ講演会** in 文化ホール
健康推進員総会にて 講師：センター金井技師

5月～6月

- 5/9(日) **母の日乳がん撲滅キャンペーン街頭PR** in 大和アトリオ前
石川よろこびの会員協力企業スタッフ他参加
“大切なお母さんを乳がんでなくさないでね！”
- 6/5(土) **百万石踊り流し参加**
石川よろこびの会員等多数参加あり
“そこの浴衣姿 きれいだね” 賞金ゲットならず “残念”
- 6/11(金) **野々市町若年者子宮頸がん検診受診拡大事業+乳がん自己検診法の講習+ネイルアート体験** in 保健センター
“保育士さんも協力！子供をあずけて安心して受診できるね”
- 6/13(日) **金沢地区ミニ健康フェア** in 城南公民館
動脈硬化測定 “あなたの血管年齢は〇歳” でしたか？ “大人気ですね”

9月

- 9/3(金) **加賀市ミニ講演会** in 三木地区会館
乳がんについて 講師：石川県立中央病院診療部長 吉野裕司先生
- 9/12(日) **いしかわ健康フロンティアフェスタ2010** in 地場産大ホール
動脈硬化測定 “ゲスト安藤和津さんも測って行ったヨ”
- 9/24(金) **いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会設立**
県から事務局を受託する “企業と市町と両方で受診率UPめざします。”
- 9/26(日) **かなざわピンクリボンプロジェクトメッセージウォーク** in しいのき迎賓館
3km10kmコースウォーキング700人参加
マンモ無料検診・乳房自己触診法ブースetc
前日はカジマート桜田店でマンモ無料検診
“最高の天気、たくさんの方が参加してよかったネ”
“田中美里さん美しい!! 田中美恵子議員・久保洋子議員参加ありがとう!!”
- 9/27(月) **住友生命と日本対がん協会主催 当センター共催 乳がんセミナー1回目** in こまつドーム
乳がんについて 講師：石川県立中央病院診療部長 吉野裕司先生
マンモグラフィ検診について 金井技師
自己触診法について 橋本・担当
“女性も男性も乳がんに関心をもってネ” “皆んなしこりを触ったヨ！”

7月～8月

- 8/10(火) **羽咋市若年者女性がん受診拡大事業** in 文化会館
子宮頸がん検診+乳房エコー検査+ネイルアート体験
“無料クーポン券” 利用したかな “せつかくのチャンスですよ！”
- 8/28(土) **加賀市ミニ講演会** in 塩屋地区会館
大腸がんについて
講師：金沢赤十字病院副院長 西村元一先生
“増えているんです。簡単な検査です。毎年受けましょうネ”
“たくさんの男女が参加してくれました。”

10月

- 10/3(日) **羽咋福祉まつり** in 文化会館
骨密度・動脈硬化測定
- 10/4(月)・5(火) **住友生命+日本対がん協会主催 当センター共催 乳がんセミナー2回目** in 地場産ホール
3回目 in 能登小牧台
乳がんについて 講師：石川県立中央病院診療部長 吉野裕司先生
マンモグラフィ検診について 高瀬・安地技師
自己触診法について 橋本・担当
- 10/9(出)～11(月) **ねりんピック石川共同開催 第19回県民健康祭** in 産展4号館
動脈硬化測定・乳がん予防コーナー
“開会式はあいにくの天気にもかかわらず県外参加者も測定して行ったヨ！”
- 10/16(土) **羽咋市若年者女性がん受診拡大事業** in 市横体育館
子宮頸がん検診+乳房エコー検査+ネイルアート体験
- 10/17(日) **金沢地区ミニ健康フェア** in 二塚公民館
動脈硬化測定・乳がん予防コーナー
“人気で最後まで測定していたね”
- 10/23(土) **MRO放送ホスト石川 がん検診の現状放送**
“石川よろこびの会員 高島・坂下両氏も出演する”
- 10/25(月)～31(日) **いしかわ健康づくり応援企業**
受診率向上街頭キャンペーン実施
近江町市場など県内11会場で実施
“参加企業の皆さん、ありがとうヨロシクネ”

11月～12月

- 11/25(木) **生活習慣病予防講演会** in 市立幼稚園協会にて
講師：金沢医科大学病院講師 中西由美子先生
“幼稚園バスの運転手さん大事な子供を乗せてます。体に気をつけて”
安全運転で！

石川よろこびの会

石川よろこびの会会長

松井 外貴彦

新年明けましておめでとうござい
ます。

村野前会長が体調を崩し、急遽会
長職を引き受け早1年近くが過ぎよ
うとしています。昨年は、「しいの
き迎賓館」前でがん征圧月間街頭P
R活動が、行われました。また、新
しく「いしかわ健康づくり応援企業
等連絡協議会」に加入し、街頭キャ
ンペーンを行いました。「よろこび
の会」の活動も月1回の定例会に、



『第28回全国よろこびの会総会』

★石川よろこびの会へのお問い合わせや入会申込みは★

石川よろこびの会事務局

〒 920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
財団法人 石川県成人病予防センター内
TEL 076-237-6262(代表)
FAX 076-238-9207
URT <http://www.kenshin-ishikawa.or.jp/>
E-mail smile@kenshin-ishikawa.or.jp

結核予防に協力を

複十字シール運動をPR

木下健康福祉部長に表敬訪問

結核や肺がんなどの呼吸器疾患を
なくすための活動である「複十字
シール運動」が8月1日から12月31
日まで実施されました。8月3日に
県結核予防会県支部の高田千恵子会長
と結核予防会支部の村田仁海専務
理事をはじめ担当者で県庁を訪れ、
木下公司健康福祉部長に運動への理
解と募金の協力をお願いしました。



『2010年 複十字シール運動表敬訪問』

結核予防週間

街頭啓発活動を実施

しいのき迎賓館広場にて

結核予防週間である9月24日から
30日までの間の26日に、金沢市しい
のき迎賓館広場にて、結核やがんの
パンフレットやカットパンなどを配
布しました。会場では、ピンクリボ
ンウォークという行事が催され多く
の方がイベントに参加しており、そ
の方に結核検診やがん検診の受診を
呼びかけました。



『2010年 街頭啓発活動』

乳がん・子宮頸がんの無料クーポン利用率について

21年度補正予算に基づき創設された「女性特有のがん検診推進事業」は、乳がん検診と子宮頸がん検診で5歳間隔の節目年齢を設け、地域・職域を問わず対象者に検診手帳と無料クーポンを配布するものです。初年度である21年度の無料クーポン利用率は乳がんで24.1%、子宮頸がんで21.7%にとどまりました。

この事業は来年度も実施される予定ですので、検診無料クーポン券が届いたら、ぜひ、時間を調整して、乳がん・子宮頸がん検診を受けましょう。無料クーポン券を使用できる医療機関は市町によって異なります。詳しくは、お住まいの市町にお問い合わせください。また、今回の受診をきっかけに、これからも自分の健康を保っていくために、定期的に乳がん・子宮頸がん検診を受けることが重要です。健康に問題がないと思っても、2年に1度は検診を受けましょう。



新入社員紹介

2010年4月から放射線技師として働くことになりました木村です。以前は金沢市内の病院で技師をしていました。入職してから2ヶ月ほどでマーゲン車およびマンモ車、胸部車を1人でまかされて検診に出るようになり、気付けばもう半年以上経つほどあつという間でした。今後は、まだ経験したことのない乳腺エコーの方にも力を入れて頑張っていこうと思いますので、これからもよろしくお願ひします。



木村 えり

2010年より成人病予防センターに就職した保健師の廣瀬です。6月という検診の忙しい時期に入社し、皆様には大変ご迷惑をお掛けしてしまいましたが、先輩方のあたためたいご指導と大きな支えにより、少しずつですが業務にも慣れることができました。また、初めての一人暮らしもようやく楽しめるようになりました。まだまだ未熟者で分からないことも多々ありますが、日々学習し、成長していきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひ致します。



廣瀬 まな

編集後記

お忙しい中、原稿執筆をお引き受けいただいた皆様、本当にありがとうございます。お礼申し上げます。委員一同ホットな情報を発信したいと思っております。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。(編集委員会)

「いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会」事務局を日本対がん協会石川県支部(石川県成人病予防センター)が担当
九月二十四日(金) 石川県庁において「いしかわ健康づくり応援企業等連絡協議会」設立連絡会議において事務局を担当する事に決まりました。当初は四十二の企業・団体より参加申込みがありましたが、現在は五十一の企業になりました。この事業はいしかわ健康フロンティア戦略2009に基づきがん等の生活習慣病による死亡の減少を目指し、がん検診や特定健康診査等の受診率向上と県民のさらなる健康づくりの推進を図る目的に設立されました。企業や関係団体、患者会等と連携して取り組みを進めるものです。十月二十五日には近江町いちば館をはじめ金沢駅東口において街頭キャンペーンを行いました。今後は募集している標語、キャラクターを決定し、啓発活動に活用するなど積極的に活動していきたいと思ひます。又、がん体験者による語り部活動もどしどし申し込み下さい。お待ちしています。市町、企業、関係団体皆で石川県の検診受診率を向上させましょう。